

# 読

Yomiuri  
Nippon  
Symphony  
Orchestra

# 響

“歡喜の歌”に希望を込めて  
今年はずしかった。音楽と共に互いを称え、  
涙あふれる至福の時を共に!

# 第九

ベートーヴェン：  
交響曲 第9番 二短調 作品125  
「合唱付き」

BEETHOVEN: Symphony No. 9 in D minor, op. 125 "Choral"

管弦楽 読売日本交響楽団

ドイツから名匠が来日!  
14日間の隔離措置を経て、  
傑作に熱い想いを込める。  
指揮 セバスティアン・  
ヴァイグレ (常任指揮者)

ソプラノ  
森谷真理

Make up Sponsored by Jane Iredale

メゾ・ソプラノ  
ターニャ・アリアーネ・  
バウムガルトナー

©Dario Acosta NY

テノール  
AJ・グルツカート

©Barbara Aumüller

バリトン  
大沼徹

●SHINRYO Presents「第九」特別演奏会

12月16日(水) 19時開演  
東京芸術劇場 コンサートホール (池袋)  
S¥9,700 A¥7,600 B¥6,100 C¥4,600

●第637回 名曲シリーズ

12月18日(金) 19時開演 サントリーホール (赤坂)  
S¥9,700 A¥7,600 B¥6,100 C¥4,600

●第233回土曜 マチネーシリーズ

12月19日(土) 14時開演  
東京芸術劇場 コンサートホール (池袋)  
S¥9,700 A¥7,600 B¥6,100 C¥4,600

●第233回日曜 マチネーシリーズ

12月20日(日) 14時開演  
東京芸術劇場 コンサートホール (池袋)  
S¥9,700 A¥7,600 B¥6,100 C¥4,600

●第124回みなとみらいホリデー名曲シリーズ

12月26日(土) 14時開演 横浜みなとみらいホール (横浜)  
S¥9,700 A¥7,600 B¥6,100 C¥4,600

●所沢「第九」特別演奏会

12月27日(日) 15時開演 所沢ミューズ (所沢)  
S¥8,000 A¥7,000 B¥6,000

※16日、27日のみ、前半に三原麻里によるオルガン演奏(約15分)を行います。

お申し込み・お問い合わせ

読響チケットセンター: 0570-00-4390  
(10:00~18:00・年中無休)

読響チケットWEB: <http://yomikyo.pia.jp/>

\*座席選択可 / \*チケット郵送料無料



合唱 新国立劇場合唱団 (合唱指揮=冨平恭平)

2016年12月17日 第九公演 ©東京芸術劇場

<https://yomikyo.or.jp/>



# クラシック音楽の最高傑作 心に響きわたる《歓喜の歌》希望のハーモニー

今年のベートーヴェン〈第九〉は、例年とは一味違ったものになるでしょう。2020年は多くの方が困難な状況に直面しました。今も苦しみ、奮闘している人が多くいます。人類愛を高らかに謳った〈第九〉はそんな私たちに希望を与えてくれるものです。人々が実際に手を取り合えなくても、音楽で互いをたたえ合い、心を通わせることのできる偉大な作品です。年末に聞く“歓喜の歌”は、新しい年への希望として響くでしょう。

この特別な年の〈第九〉のために、読響常任指揮者セバスティアン・ヴァイグレがドイツから来日し、2週間の隔離措置を経て指揮台に立ちます。今年はベートーヴェンの生誕250周年という記念の年でもあります。ドイツの名門フランクフルト歌劇場の音楽総監督を務め、パイロイト音楽祭やベルリン国立歌劇場などで活躍しているマエストロの手腕にご期待ください。

〈魔笛〉夜の女王役で鮮烈なメトロポリタン歌劇場デビューを飾ったソプラノの森谷真理をはじめとする豪華独唱陣、日本が誇るプロ合唱団の新国立劇場合唱団とともに、読響がお届けする至福のひとつときをご堪能ください。



指揮  
セバスティアン・ヴァイグレ (常任指揮者)  
Conductor = SEBASTIAN WEIGLE

2019年4月から読響第10代常任指揮者を務めるドイツの名匠。ベルリン生まれ、1982年からベルリン国立歌劇場管の首席ホルン奏者として活躍後、指揮者に転身。2003年にフランクフルト歌劇場でR.シュトラウス〈影のない女〉を振り、雑誌『オーパンヴェルト』の「年間最優秀指揮者」に選ばれた。04年から09年までバルセロナのリセウ大劇場の音楽総監督を務め、08年からフランクフルト歌劇場音楽総監督の任にある。同歌劇場は『オーパンヴェルト』の「年間最優秀オーケストラ」や「年間最優秀歌劇場」に輝くなど、その手腕は高く評価されている。パイロイト音楽祭、ザルツブルク音楽祭、ウィーン国立歌劇場、ベルリン国立歌劇場、ドレスデン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場、ベルリン放送響、ウィーン響などで活躍している。



ソプラノ  
森谷真理  
Soprano = MARI MORIYA  
Make up Sponsored by Jane Tredale



メゾ・ソプラノ  
ターニャ・アリアーネ・バウムガルトナー  
Mezzo-Soprano = TANJA ARIANE BAUMGARTNER  
©Luigi Caputo



テノール  
AJ・グルックアート  
Tenor = AJ GLUECKERT  
©Barbara Aumüller



バリトン  
大沼徹  
Baritone = TORU ONUMA

欧米と日本で華々しく活躍する歌姫。レヴァイン指揮でメトロポリタン歌劇場にデビューを飾り、リンツ州立劇場の専属歌手を務めた。ライプツィヒ歌劇場、ウィーン・フォルクスオーパー、シアトル・オペラ、バーゼル歌劇場、フランクフルト・オペラなどで活躍。19年のヴァイグレ指揮二期会〈サロメ〉で題名役を歌い好評を博し、同年11月には「天皇陛下御即位を祝う国民祭典」で国歌を独唱。二期会会員。

力強く豊潤な歌声で世界を魅了するメゾ。2009年からフランクフルト歌劇場専属歌手を務めている。ヘンデルからベルク、ライマンまで幅広いレパートリーを持ち、パイロイト音楽祭、ザルツブルク音楽祭、チューリヒ国立歌劇場、ハンブルク国立歌劇場、英国ロイヤル・オペラなどで活躍。コンサートでもヴァイグレ、ナガノ、マイスターらの指揮でウィーン放送響、ミュンヘン・フィルなどと共演。

“明るく響きわたり、しかも繊細”とニューヨーク・タイムズ紙が評するテノール。フランクフルト歌劇場専属歌手。ヴァイグレ、カンブレラン、ネゼ＝セガンらの指揮で、メトロポリタン歌劇場、グランドボーン音楽祭、サンフランシスコ・オペラなどで活躍。今年1月、ミルガ・グラジニーニ＝テティラ指揮バーミンガム市響のマーラー交響曲第8番のソリストを務め、絶賛された。

気品あふれる歌唱力で活躍する実力派バリトン。五島記念文化賞オペラ部門新人賞。〈ウリッセの帰還〉題名役でデビューを飾り、〈フィデリオ〉ドン・フェルナンド、〈トスカ〉スカルピア、〈沈黙〉ヴァリニャーノなどを歌う。読響とは、小林研一郎指揮「カルミナ・ブラーナ」、ヴァイグレ指揮の二期会〈サロメ〉ヨカナンなど、これまで多数共演している。二期会会員。



オルガン  
三原麻里  
Organ = MARI MIHARA

国内外で活躍する気鋭のオルガニスト。シャルトル国際オルガンコンクール優勝。フランスを中心に、欧州各地のオルガンフェスティバルに招待され、演奏ツアーを行う。ソロ活動のほか東フィル、東響などと共演。ノートルダム大聖堂で録音したCDは「聞かずに喜びを得ることができる」と高い評価を得ている。所沢ミューズの第4代ホールオルガニスト。

新国立劇場合唱団  
(合唱指揮 = 冨平恭平)  
New National Theatre Chorus  
(Chorusmaster = KYOHEI TOMIHIRA)

至高のハーモニーで人類愛を歌う、読響〈第九〉のベスト・パートナー。新国立劇場で行われる数多くのオペラ公演の核を担う合唱団として活動を展開し、高い評価を得ている。2007年以來、読響〈第九〉公演に出演を続けている。2007年以來、読響〈第九〉公演に出演。約40名の出演予定。

読売日本交響楽団  
Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

1962年、日本のオーケストラ音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団(27日を除く)公益財団法人所沢市文化振興事業団(27日)共催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場(19、20日)読売日本交響楽団(27日)特別協賛：新菱冷熱工業株式会社(16日)協賛：NTTコミュニケーションズ株式会社(18、19日)助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)独立行政法人日本芸術文化振興会(18、19、20、26日)協力：アフラック(16日)、横浜みなとみらいホール(26日)事業提携：東京芸術劇場(16日)

お申し込み・お問い合わせ  
読響チケットセンター：0570-00-4390 (10:00~18:00・年中無休)  
読響チケットWEB：http://yomikyo.pia.jp/ \*座席選択可/\*チケット郵送料無料

〈27日所沢公演のみ〉  
ミュージックチケットカウンター：04-2998-7777  
(10:00~18:00・休館日を除く)

■ 学生券：学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下/27日を除く)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。  
■ 都合により曲目、出演者等が一部変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。  
■ 未就学児童のご入場は、固くお断りいたします。  
※ マスク着用など、読響の「感染予防対策」にご協力をお願いします。

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団(27日を除く)公益財団法人所沢市文化振興事業団(27日)共催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場(19、20日)読売日本交響楽団(27日)特別協賛：新菱冷熱工業株式会社(16日)協賛：NTTコミュニケーションズ株式会社(18、19日)助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)独立行政法人日本芸術文化振興会(18、19、20、26日)協力：アフラック(16日)、横浜みなとみらいホール(26日)事業提携：東京芸術劇場(16日)